

編 集 後 記

『三重大学留学生センター紀要』第5号をお届けいたします。今回から、先回まで設けられていた「研究報告」という区分に替わって、新たに「調査報告」と「実践報告」という細分化された区分が設けられました。紀要編集委員会において、これまでの本誌の編集方針と他機関誌の実態調査を踏まえて協議した結果です。幸いにも本号も投稿者に恵まれ、研究論文5編、調査報告2編、実践報告1編を掲載することができました。その内容は、異文化理解や受容的対話能力に関する研究、誤用分析、日本語表現分析、コミュニケーション・ストラテジー分析、外国籍児童生徒教育と小学校授業に関する調査報告、ボランティア日本語教室での実践報告、と多彩な分野が集まりました。いずれも、日々の日本語教育・留学生教育に追われながら貴重な時間を割いてまとめられたものであり、大なり小なりの‘玉稿’と言えますでしょう。

三重県の特産品の一つに、志摩地方で養殖される真珠があります。真珠は、アコヤガイなどの真珠貝の中に、その素となる小さな核を埋め込んで育てられます。真珠貝にとってはその核は異物となりますが、それを自らの体液で幾重にも包み込むことによって、あの美しい玉が育てられるのだそうです。

近々、我が国の受け入れ留学生も10万人を超えます。2003年4月には当センターも開設7年目を迎え、念願の新校舎へ統合移転いたします。打ち寄せる変化の波の中であって、当センターも、また本紀要も、真珠貝のように美しい輝きを放つ真珠玉を数多く大切に育てていければと思います。(K.M.)

三重大学留学生センター紀要 第5号

2003年3月20日 印刷

2003年3月25日 発行

編集委員：鹿 嶋 恵 (委員長)

福 岡 昌 子

藤 本 久 司

発行者 三重大学留学生センター

〒514-8507 三重県津市上浜町1515

印刷所 伊藤印刷株式会社

〒514-0027 三重県津市大門32-13

TEL 059 (226) 2545 FAX 059 (223) 2862